

2007 年度海外留学プログラム 参加者アンケート

このアンケートに記載された情報は衣笠国際センター・BKC国際センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考にします。

また、前半4ページは、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム： 国連本部訪問コース 派遣先大学/機関 国連本部

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

氏名： _____ 経営 _____ 学部/研究科 _____ インスティテュート

E-mail： 1 回生 男・女

* 以下、回答は、該当するものに○印をつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

内容・レベル、使用教材、テストについて：

内容は国連の様々な機関に属する職員の方々から国連の活動における現状や困難な課題などを日本語、英語で講義していただき、自分たちも質問させてもらえました。レベルは新聞に記載されているような国際問題は理解でき、英語は現地で普通に暮らせるぐらいのレベルがあれば、しっかりと理解ができると思います。

クラス数と受講人数（クラス分け方法）、本学以外の学生の参加：

30人全員で一緒に講義を受けます。プログラムのテーマ上、やはり衣笠の方が圧倒的に人数は多いです。(僕ときは29:1でした)

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

最高の時間が過ごせました。国連職員の方々が時間を割いて僕たちに講義をして下さり、自分のこれからの大学生活、そして人生における課題・目標が見つかりました。次年度参加する方は様々なところに向けてアンテナを掲げ、「世界基準」を吸収してきてほしいと思います。

② 現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ：世界の水問題

事前準備・現地でのリサーチ方法：

現地でインターネットを使ったり、図書館に行きました。

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

取り組む時間が非常に短いので、ある程度の知識がないと結構きついです。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について

講義以外は自由行動で、観光しまくりました。土日は終日自由行動なのでニューヨークの人気スポットは計画的に回れば全て行く事ができます。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス（携行品等）：

ニューヨークは本当にすばらしい街です。世界の政治、経済、文化の中心であり、街に流れる空気がすごいです。誰もが知っている有名スポットはもちろん、普通の街並みもとても美しいです。カメラは、僕はインスタントカメラだったのですが、デジカメのほうがたくさん撮れるので良いかもしれません。僕はどうしても自分の英語がどこまで通用するか知りたかったのでほとんど1人で観光していましたが、1人だと自由に好きなところを回れるので、結構おすすです。ただ、危ない雰囲気があるところがあったりしたのでそこは気持ちで乗り切ってください。

3. 現地の環境について

①現地キャンパスについて

自習環境について

国連の中で自習は無理です。無理というか空気読みましょうという感じです。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス：

国連の中に流れる「世界基準」の雰囲気存分に体験してください。

②住居について（当てはまるものに○）

- ・寮 or ホームステイ or その他（ ホテル ）
- ・食事は？： 自炊 or 食堂 or 外食 or その他（ ）
- ・食費は？： プログラム費用に含む（ 食 ） or 別途実費負担

・寝室は？： a. 1人部屋 b. 相部屋（ 3名でシェア→ルームメイトは 立命館生 or 現地学生 or その他）

・共有施設は？： a. キッチン b. トイレ c. シャワー d. 無し（すべて自分/ルームメイト専用）

・洗濯は？： ランドリー 有 or 無 洗濯機の使用 可 or 不可 or 洗濯してくれた

・家族構成 or 寮の住人の構成は？：

・寮 or ホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス：

日本の東京駅に相当するグランドセントラルターミナルまで徒歩3分という最高の場所にホテルがあり、観光には大変便利でした。ホテル自体も内装等がすばらしく文句無しでした。ただ、すごく乾燥しているので乾燥に弱い人はいくつか対策をしていった方が良いと思います。

<2 箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

③パソコン・インターネット環境について（当てはまるものに○）

・パソコン利用場所は？： 大学（約__台あり） or ホームステイ先・寮 or その他（国連内にあります）

・ノートパソコンを日本から持参しましたか？： 持参した or 持参しなかった

・インターネットへのアクセスは？： 自室から可能 or 一定の場所から可能（ ） or 不可能

・日本語ソフトは？： 読める or 入力できる or 読み・入力ともに可能 or どちらも不可能

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス：

国連内にありましたが常に利用者がいるという状態なので使えないとおっておいの方がいいです。ただ、パソコンが使えなくてもそこまで不便は感じませんでした。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容：

交流というほどではありませんが、国連事務次長の赤坂さんにお会いできる機会がありました。また、国連の職員の方々はその方も気さくな方で、講義終了後も個人的に質問があれば応えてくれました。

次年度参加者へのアドバイス（あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など）：

事前に連絡があると思いますが、国連内はスーツで動きます。また、国連職員の食堂で昼食を食べるので運がよければ話しかけてもらえ、貴重なお話を聞く事ができるので、それなりの英語力があると非常に有意義な時間を過ごせると思います。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

国連や国際問題についてある程度理解しておいたこと。

事前に学習しておけばよかったと思うこと

英語の専門用語をもっと勉強しておけばよかった。

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

約 70000 円 または 現地通貨で _____ くらい

持参したお金: 40000 円相当 (十分だった or 不十分だった)

② 主にお金はどのように持参しましたか？ (複数回答可)

a. 現金 b. トラベラーズチェック c. クレジットカードを利用 d. 国際キャッシュカードを利用

e. その他 ()

お金・現地物価についてのコメント

食費に関しては日本の 1.5 倍はあります。ただ、交通費やおみやげ代は日本よりも安いです。クレジットカードが使えないお店がたまにあるので現金は多めに持っていった方が良いかもしれません。

③ 持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

旅行に必要なもの一式があれば良いと思います。

不必要なもの

おみやげなどでかなり荷物が増えるので軽めに出発した方が良いと思います。

④ 実際にプログラムを体験しての全体の感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

本当に最高の 10 日間でした。世界の諸問題に取り組む国連の本部で多くの職員の方々から世界の現状、問題点を聞いた事はもちろん、ニューヨークという世界の中心とも言える街で時間を過ごせた事自体が素晴らしい経験となりました。僕は経営学部ということもあり、国連のような国際問題を扱う機関を訪問するプログラムは場違いと思われるかもしれませんが、「世界基準」というのをどうしても自分の肌で感じたかったのでだめもとで応募しました。確かに講義は内容・レベルともに高く、難しかったです。高い意識を持って臨めば本当に貴重な時間となるので、このプログラムに参加する方はしっかりと目的意識を持って参加してもらいたいと思っています。このプログラムでは本当に多くの貴重な経験をすることができます。その経験を様々な方面で生かすことができるよう、来年度参加することができる方にはプレッシャーを与えるつもりは全くありませんが、期待したいと思います。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話してもらうなど)をお願いする際、協力をお願いしますか。

協力してもよい 協力できない

ご協力ありがとうございました。 記入済みアンケート用紙は、**2007年9月28日(金)まで**に、衣笠国際センター・BKC国際センター窓口の専用回収箱に入れてください。 立命館大学衣笠国際センター・BKC国際センター